

Close up だて

— やるからには
一番上を目指す —

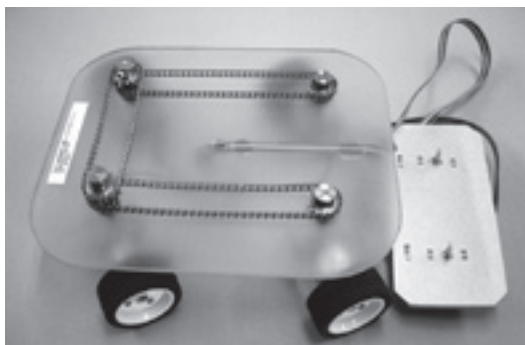
くろ さわ りゅう の すけ
黒澤 龍之介さん
(竹原町)



子

どもたちに、モノづくりの楽しさを通じて創作の喜びや発明の楽しさを知ってもらうことを目的に開催されている「全日本学生児童発明くふう展」。今回、第73回を迎えた歴史あるこの大会で、最高賞にあたる「恩賜記念賞」を伊達中学校2年生の黒澤龍之介さんが受賞しました。

もともと科学に興味のあった黒澤さん。小学生のときにロボットサッカーコンテストに出場し、「効率的に動かすにはどうしたら良いのか」と感じたそう。その後、電動車いすを見て、「スムーズに動かせないか」ともどかしさを感じたのがきっかけで、今回の作品を製作しました。「頭で描いたイメージが具現化できたときが嬉しい」と発明の楽しさを話してくれます。今回出展した作品「垂直回転軸平行車輪による全方向走行システム



今回出展した作品。前回の作品を改良し制作しました

△は、タイヤをラダーチェーンでつないでいるため全てのタイヤが連動して垂直に動くことを可能にしました。「製作期間は約1カ月。難しい部品は使わず、簡単な仕組みで作ることを目指した」と他の人が見ても分かりやすい構造を意識して作り上げたようです。

「受賞できるとは思っていなかった。本当に嬉しい」と率直な感想とともに「次回も受賞を目指したい」と強い意気込みも話してくれました。「何事もやるからには一番上を目指す気持ちを持って頑張ってほしい」と後輩たちにメッセージを送ります。

日頃から好奇心を持ち、ふと疑問に思ったことを研究し続けたことで得られた今回の受賞。黒澤さんが発明した作品が、実際に社会で利用される日が訪れるのもそう遠くないのかもしれない。



前回出展した作品

表紙のはなし



まもなく開局するコミュニティFMラジオ。市観光物産館内に作られたスタジオでは、機材が設置され、開局に向けて着々と準備が進められています。コミュニティFMラジオは、地域に密着したラジオで、日常生活に役立つ情報を発信するほか、災害発生時には迅速な情報発信が可能になります。ぜひお聴きください。

楽 画 記

- 温かくなりました。市内のほとんどでは、ほほ雪がなくなりお出かけしやすい道路状況です。さて、ちょっとした遠出もいいかなと思う反面…。まったりとした春の穏やかな雰囲気は、睡魔を元気にさせるようでぐいぐいと力強く私を眠りの世界に引っ張ります。「眠さ」と「お出かけへの意気込み」、どちらが…?(と)
- 2月号の楽画記で「体重を減らさなければ!」と書きました。しかし、会う人会う人に「また丸くなった?」と声をかけられます。気持ちとは裏腹にどんどん増えていく体重。そろそろ本腰を入れてダイエットに取り組みたいと思います。(いつも思っているのですが、今回は本気です…。笑)(た)
- 1市3町コミュニティFMラジオ「wi-radio」開局記念として、今月号は各市町で同じ表紙を飾るという合同企画をたてました。各々の広報担当者のスパイスが加わって多少の味の違いはあると思いますが、概ね同じになっているはず。他町の広報紙を目にする機会がありましたら、注目してみてくださいね。(や)

発行・編集

伊達市企画財政部企画課

TEL 0142-23-3331 内線238・239

FAX 0142-23-4414

E-mail kounou@city.date.hokkaido.jp

〒052-0024 北海道伊達市鹿島町20番地1

とじて保存しましょう